

プラスチック類の焼却量削減に向けて

「プラスチック製容器包装」と「プラスチック製品」を一括で回収する実証試験を今年度実施

【目的】一括回収による収集量の増減や組成を把握し、効果的な処理手法を検討。プラスチックごみ焼却量削減を目指す

【期間】令和3（2021）年11～12月

【対象】脱炭素アクションみぞのくちエリア内集合住宅※
※ 溝の口ガーデンアクアス

溝の口ガーデンアクアスにお住まいの皆様へ
川崎市からごみの分別に関するお願いです



プラスチックごみ一括回収 実証試験にご協力ください

2021年 11月～12月 の2か月間は



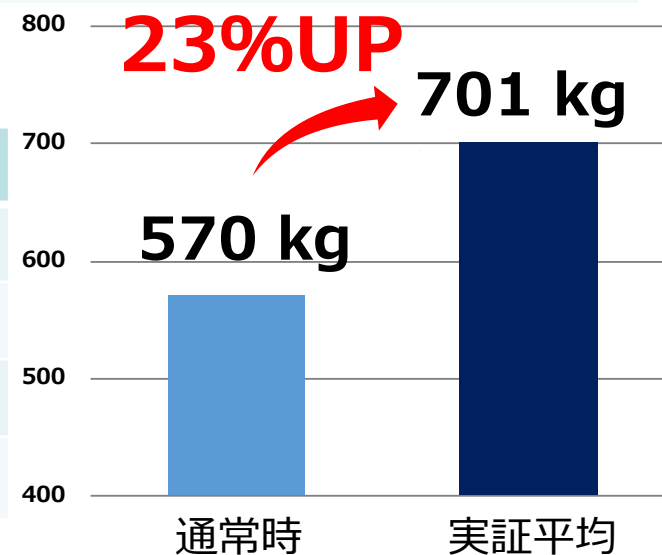
※2022年1月からは通常の「プラスチック製容器包装」のみの分別収集に戻りますので、ご注意ください。

分かりにくかった分別ルールを簡単に!

- プラスチックごみ焼却により膨大な量のCO₂が発生します。地球温暖化を防ぐため、プラスチックごみ焼却量を削減することが重要です。
- プラスチックごみを一括で回収してリサイクルする新たな分別方法を川崎市で検討中です。
- 皆様の協力で脱炭素社会の実現に近づきます。ご協力をお願いします。

●結果

	通常時	実証平均
プラ容器	478kg	519kg
プラ製品	(26kg)	87kg
異物	(66kg)	(95kg)
合計	570kg	701kg



・一括回収によってプラスチックごみの回収量が**23%アップ!**

・アンケートでは**93%以上**の方が「一括で回収して欲しい」と回答